

松ヶ丘まちづくりプラン 運用計画書 松ヶ丘防災に強い町をつくる会 活動計画書

松ヶ丘防災に強い町をつくる会は、「松ヶ丘まちづくりプラン」をさらに推し進め、災害や犯罪に強い安心・安全な町づくりに取り組んでいます。

運用・活動計画内容（令和3年度以降）

「松ヶ丘まちづくりプラン」の推進

※大規模災害に備えるために近助・共助が可能な体制づくりを目指して以下を計画しています。

①松ヶ丘防災隊の組織強化

- ・毎年4月、新たに推薦される理事・評議員に向けて、自治会防災組織・活動の啓発を行う。

②いっとき避難場所としての自治会館機能の充実

- ・非常食・飲料水等防災備蓄品の強化
- ・感染症拡大防止対策物品の備蓄

③要援護者の把握・ボランティアの把握

- ・町内要援護者の登録奨励と、その安否確認見守り活動を行う。

④松ヶ丘総参加防災訓練の実施

- ・例年実施される地域防災拠点防災訓練への参加の奨励、松ヶ丘自治会実施の「総参加防災訓練」への参加者拡大

⑤いっとき避難場所としての松ヶ丘公園機能の強化

- ・災害用かまどベンチを活用した防災炊き出し訓練
- ・災害時用仮設トイレの設置に向けて、法的規制や下水への接続可否の調査等、土木事務所などとの連絡調整、他地域への見学、研修等

⑥自助の強化

- ・建物の耐震診断・耐震改修の奨励
- ・転倒防止器具の普及強化
- ・耐震ブレーカーの普及強化
- ・防災センターの見学や子ども達への防災意識啓発研修

⑦自治会活動の活性化

- ・松ヶ丘サロン（ラウンジ、趣味の教室、健康体操教室）、すくすくかめっ子（子育て支援活動）、夕涼み会・交流会の実施、松ヶ丘だよりの発行などを通じて、会員相互の交流を図る。

※そのほか

- ①スタンドパイプ式消火器の活用検討ほか火災に備えるための対策の強化
- ②感染症対策を含む防災、避難体制づくりの検討